

# しかおい議会だより

第 169 号

議長新年あいさつ

臨時議会

12月定例議会

町政を問う・一般質問

まちなか会議

P2

P2

P3

P5

P7

「一球協心」

撮影者 鹿追高校写真部1年  
ながや 長屋 結羽 さん

12月19日 鹿追高校で球技大会を  
開催。

■発行者 北海道鹿追町議会

■2026（令和8）年1月25日発行

【E-mail】 [gikai@town.shikaoi.lg.jp](mailto:gikai@town.shikaoi.lg.jp)

【URL】 <https://www.town.shikaoi.lg.jp/>



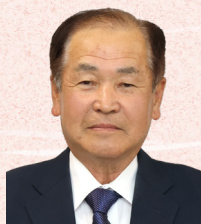
議会ホームページ

検索

2026 年 1 月



# 新年のごあいさつ



鹿追町議会議長 上嶋 和志

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、健やかに令和8年の新春を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より鹿追町議会の活動に対し、深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月の大雪や7月後半の連日の猛暑など、気候の変動が私たちの日常生活や農作物に大きな影響を与えた一年でした。そのように厳しい環境下にあっても、本町の基幹産業である農業におきましては過去最高の生産額を達成しました。地域経済を支える現場の皆さまの、たゆまぬご努力とご尽力に対し、深く敬意を表します。

さて、議会改革の重要性が叫ばれるなか、12月の第4回定例会では、議員定数条例の改

正案が提案され、議員間の討論を経て採決の結果、現行の11人体制を維持することとなりました。これにつきましては町民の皆さまより多様なご意見をいただいております。定数を維持するからには、これまで以上に議会の活性化に取り組み、議員のなり手不足という課題にも正面から向き合っていく覚悟です。

人口減少や持続可能な地域づくりといった難題に対し、将来にわたって責任ある判断を下していくことが議会の役割です。

本年も、町民の皆さまとの「対話」を原点に、誰もが安心して暮らし続けられる鹿追町の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸、そして鹿追町のさらなる発展を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## 議員定数

## 削減案を否決

第4回臨時議会が10月28日に、第4回定例会が12月9日から17日まで9日間の会期で開催された。定例議会では、議員の定数を1人減とする条例改正案が提案され、賛成4、反対5の賛成少数で否決された。

## 10月臨時議会

### 主な補正予算

#### 脱炭素推進

○J・クレジット※制度審査手数料 126万円

J・クレジットによる資金化の手法を、従来の「堆積発酵」から温室効果ガス抑制効果が高い「メタン発酵」方式に変更して申請する。メタン発酵方式での国の審査受審は全国初で、第三者機関による計画の適合性審査を経て、登録完了後にクレジット申請が可能となる。  
※J・クレジット…温室効果ガス排出削減量を国が認証し、資金化する仕組み。

### 財産の取得



こども園西側歩道に防風ネットを設置

○鹿追消防団小型動力ポンプ積載車購入 1089万円

### 請願・意見書

○食料・農業・農村政策確立に関する予算の拡充等を求める請願・意見書

鹿追町農民団体連絡協議会（武藤敦則会長）からの請願を採択し、国に意見書を提出した。

改正基本法の理念に基づき、食料安全保障確保のため国内農業生産増大と経営安定に資する政策確立・予算拡充、米国相互関税や国際貿易協定への対策継続、異常気象対応の資材開発推進、鳥獣被害防止対策の予算確保等の措置を要望する。

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

北海道は豊かな自然や農林水産業など多くの可能性を持つが、高規格道路の未接続区間や災害、道路老朽化など課題を抱える。人や物の流れの効率化や災害に強い地域づくりには道路網整備と老朽化対策、除排雪体制確保が必要である。資材高騰下でも長期安定的な予算確保と国土強靱化推進を国に要望する。

## 12月定例議会

### 主な条例改正

○議会議員報酬及び費用弁償等に関する条例  
○特別職の職員の給与に関する条例

○職員の給与に関する条例

○鹿追町会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例  
人事院勧告に基づき、議員・特別職・職員・会計年度任用職員の期末手当等を引き上げた。

また、職員・会計年度任用職員の給与及び通勤手当を改定した。適用は、給与及び通勤手当が令和7年4月1日、期末手当等が令和7年12月1日、会計年度任用職員（パート）の期末手当等が令和8年4月1日とした。

### 主な補正予算

#### 人件費

○給料 1447万円  
○職員手当等 1413万円  
○報酬 213万円

※全会計合計

人事院勧告に基づく条例改正に伴い、不足額を計上した。

#### 施設整備

○エアコン整備に伴う電源改修 423万円

ウリマックホール大会議室ほか、各地域の公民館・集会所13施設にエアコンを整備するため、電気配線等の改修を行う。



エアコンを整備するメーブルホール（元町）

#### 起業支援

○地域おこし協力隊※起業支援金 200万円

教育関係のまちづくり会社を町内で設立し、地域課題の解決を目指す地域おこし協力隊員2人に対し、1人100万円を交付する。任期終了後も町に定住する隊員を後押しし、円滑な起業を支援する。国の特別交付税を活用する。  
※地域おこし協力隊…都市部の視点を生かし地域ブランド開発や住民の生活支援を行う制度。隊員の任期は最長3年で自身の能力を生かし地域定着を目指す。



拓殖バス鹿追営業所

#### 子育て支援

○物価高対応子育て応援手当支給事業 1710万円

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、子ども1人当たり2万円を支給する。対象者は、令和7年9月



通所介護事業を行うれんがの家

#### 介護支援

○地域密着型サービス給付費 2224万円

町内事業所の介護サービスを受けた利用者が増加したため、町が事業者を支払う給付費を増額する。

○居宅介護サービス計画給付費 300万円

町内・町外で介護サービスを受けた在宅の利用者が増加したため、町が事業者を支払う給付費を増額する。





(質問) 町民ホール・神田日勝記念美術館・トリムセンター・健康温水プールは建設から30年以上経過しており、長寿命化・省エネ設備更新を目的に、ZEC化改修事業が進められている。現在は実施計画段階で、令和8年4月から順次工事が進められる。工事による閉館期間が1年以上になるが、各施設利用者への対応はどうか。各施設の閉館期間は。利用者・団体等への周知と代替施設の案内は。トリムセンター入浴施設の休止中の対応は。関係部署の事務機能はどこに移動するのか。

(答弁) 喜井町長 各施設の閉館期間は、神田日勝記念美術館が令和8年4月から令和9年3月、健康温水プールが令和8年4月から同年10月、トリムセンターが令和8年6月から令和9年6月、町民ホールが令和8年9月から令和10年3月を予定している。各施設利用者への周知は広報しかおい1月号で行う。トリムセンター入浴施設の休止は、浴室部分の工事のため令和9年1月から6月までを予定しており、代替措置として鹿追市街の入浴サービスを行っている。宿泊業者と協議している。事務機能は、基本的



令和8年4月から同10月まで閉館予定の健康温水プール

人口減少が予想を超えて進んでいると考えるが、鹿追町の子育て環境充実の取組実態は。児童数の推移を見据えた学校教育環境の将来像の検討状況と、国際バカロレア認定への取り組み



かね たかのぶ 金子 孝伸 議員

## 人口減少対策

Q 鹿追町独自の少子化対策と教育環境について  
A 様々な取り組みの継続と発信力を充実する

(答弁) 喜井町長 2030年目標人口5180人に対し、現状は4800人台で目標を大きく下回っている。今年度出生者数も20人台の見込みで減少傾向は明らかである。妊娠・出産・子育て施策を進めているが、これらの取り組みを後戻りさせず、さらに研究しながら取り入れる。自然減は困難だが社会減に対応したい。住居が重要な要素なので、空き家・空き店舗調査を踏まえ既存施設活用や住居支援を検討する。子育て・教育情報発信の強化が必要である。特に鹿追高校の取り組みをしっかりと伝えることが重要である。SNS等を活用し、町内外への発信を充実させたい。

(答弁) 草野教育長 児童数減少により上幌内小学校が閉校、通明小学校も令和8年度末閉校予定である。本町では文科省標準規模に関わらず、地域の実情を考慮した鹿追町ならではの最適な教育環境のあり方を保護者・地域と丁寧検討している。学校経営は管理型から自律型へ転換し、学校運営協議会を中学校区単位に改変した。国際バカロレア認定の取り組みは、コミュニティ・プロジェクトを通じて「地域がつくる学校」を具現化している。情報発信は現在SNSやホームページで取り組んでいるが、今後さらに工夫が必要である。教育に関心を持つ多くの方々と連携し、都市部でのPR活動にもつながりたい。



## 町政を問う。 12月16日、3人の議員が一般質問を行った。



かりの まさお 議員

### 施設改修

Q ZEC化改修工事の総事業費は  
A 41億575万円を見込む

には移動せず、事務所として使用する。

(質問) 総事業費と町負担は。

(答弁) 喜井町長

改修工事の総事業費は41億575万円を見込み、そのうち国の交付金が18億円、地方債が18億円、一般財源が約5億円である。過疎債を活用して進める。

## 議員定数1人削減案 否決

鹿追町議会の議員の定数を定める条例の改正案を議員提案

12月17日、鹿追町議会議員の定数を1人減とする条例改正案が安藤幹夫議員から提案され、採決の結果、賛成4(安藤幹夫・清水浩徳・金子孝伸・青砥敏一)、反対5(狩野正雄・川染洋・山口優子・黒井敦志・佐々木康人)の賛成少数で否決された。



12月17日議会中継

本議会は、2期連続で無投票当選となったことから、議員のなり手不足解消に向け、全議員による活性化調査会を開催して議論を重ねた。

その中で議員定数のあり方についても議論を重ねたが、削減・現状維持の両意見が拮抗し、結論が得られないことから、令和6年3月、議員定数・報酬及びあり方等審議会(林正信会長)に諮問を行った。

### 提案理由

■ 安藤 幹夫 議員

行政課題の変化やデジタル化の進展に伴い、本議会では委員会運営の工夫等で議論の効率化と質の向上を図ってきた。議員定数を1人削減し10人としても、タブレット活用等により議会機能は十分に維持可能であり、住民負担の軽減にもつながるため、本条例改正案を提出する。

### 賛成 討論

■ 清水 浩徳 議員

審議会の意見を尊重すべきである。定数削減により議員一人一人の責任が重くなり活動は集約化かつ効率化される。厳しい選挙を勝ち抜いた志の高い人材が集い、真に町民のための政策議論が活発化すると考え、本案に賛成する。

### 賛成 討論

■ 金子 孝伸 議員

2回の無投票で選挙権が行使されていない深刻な問題がある。現在10人で議会運営中だが、議会機能は損なわれていないと考える。議会の質向上には各議員の調査能力と提案力が重要である。定数削減は選挙実施への努力の第一歩である。

答申では、「社会的要因等による有権者数の変化、議員後継者が充足されない等の総合的な問題を勘案し、1人削減でも議会活動に支障はない」と示されたが、その意見を踏まえた上での議論でも結論が得られず、本会議での審議となった。

この案に対し、反対討論を3人が、賛成討論を2人が行った。

### 反対 討論

■ 狩野 正雄 議員

議員には行政監視や住民の声を伝える役割があり、日常的な研鑽努力が求められる。幅広い知見を持つ多様な人材が議論することが重要である。定数削減は選挙のハードルを上げ、議会に参画しようとする人材を失うと考え、11人の維持が必要である。

### 反対 討論

■ 山口 優子 議員

当町は病院や高校、脱炭素の取組等多様で専門的な事業を抱え、課題は多いが議論は不十分である。定数削減で視点の多様性が失われ、議論の質と量が低下し行政チェック機能が弱まる。なり手不足悪化も懸念され、議会体制の維持強化が必要である。

### 反対 討論

■ 川染 洋 議員

削減論の背景には財政問題や議会活動の不透明さがあるが、議会費は予算の1%未満で削減効果は限定的である。拙速な削減は監視機能を弱める危険がある。削減論議の前に委員会傍聴活性化やデジタル化など議会改革を十分議論し、議会の存在意義を見える化すべきである。







コーヒーを飲みながら懇談

**まちなか会議**  
「議員とカフェでひとこと」を開催

令和7年11月25日、「まちなか会議 議員とカフェでひとこと」を平成館で開催しました。当日は10人が参加し、道路の維持管理、地域おこし協力隊の活動内容、鹿追高校生の寄宿舎等施設整備、議員活動の実態と議員定数、国立公園で実施されている地熱発電調査、国際バカロレア教育等について質問や意見がありました。

出席した地域おこし協力隊員の方からは、活動をPRする場がほしいとの意見がありました。

## 産業厚生常任委員会と鹿追町商工会との「まちなか会議 懇談会」を開催

令和7年11月7日、議会産業厚生常任委員会（川染洋委員長）と鹿追町商工会（石田秀俊会長）役員との「まちなか会議 懇談会」を、ほほえみプラザで開催しました。

商工会との「まちなか会議 懇談会」は今期2度目で、今回は主に商工会から事業内容の説明があり、問題点や課題を共有しました。

問題点・課題では、経営者の高齢化、店舗と住宅が一体となっていることによる事業承継の難しさ、人口減少による購買力の低下やインターネットの普及による物販関係の減少等の説明がありました。

商店街を活性化させるためには人材の活用が重要であるとの提案があり、鹿追市街の2つの商店会組織の見直しや、交流人口の活用、移住者の声や知見の活用、高校生の積極的なまちづ

くり参加等の可能性について意見が交わされました。また、教育の特性を生かし、選ばれる町を目指すことで意見が一致しました。

商工会単独では予算面での課題もあることから、商工会が企画書を作成して町に協力を求めていくこととなりました。これを受けて、議会でも、商工会の企画を後押ししていくことを確認しました。



ほほえみプラザで「まちなか会議 懇談会」を開催

## 第3回議員塾 塾生募集

普段あまり知ることのない議会の活動を、現職議員が分かりやすく説明します。この機会にぜひ参加してみませんか？

内 容	日 時	場 所
開塾式	2月 27日 (金) 10:00	委員会室
議会の概要・議会の取組・議会活動	3月 2日 (月) 午前・午後・夜間	委員会室
総務文教常任委員会	3月 3日 (火) 9:30	委員会室
産業厚生常任委員会	3月 4日 (水) 9:30	委員会室
議会運営委員会	3月 6日 (金) 14:00	委員会室
定例議会 一般質問	3月 16日 (月) 10:00	議 場
予算審査特別委員会	3月 18日 (水) 9:30	議 場
まとめ・閉塾式	3月 23日 (月) 時間未定	委員会室

※上記日程は変更になる場合がありますのでご了承ください。

申し込み：氏名（ふりがな）・住所・生年月日・電話番号を明記のうえ、下記のいずれかからお申し込みください。  
（鹿追町議会事務局） ・ TEL：0156-66-4039 ・ FAX：0156-66-4041  
・ メール：gikai@town.shikaoi.lg.jp ・ 申し込み QR コード



申し込みQR

**（質問）**  
地熱発電は再生エネルギーとして期待される一方、環境や温泉への影響が懸念されている。調査受け入れの経緯や判断根拠、町民への説明不足を懸念する声がある。



山口 優子 議員

### 地熱発電

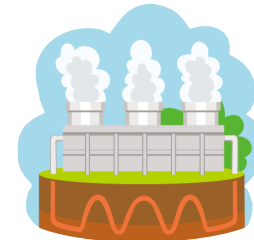
## 地熱発電について丁寧な情報提供を

### 国と事業者に働きかける

**（質問）**  
事業化の許可権限は国か町か。北部地域地熱資源活用協議会の委員の合意は町民合意と言えるのか。また、利益は事業者に偏り、町はリスクだけ大きいのではないか。

**（答弁） 喜井町長**  
現在は発電所建設を前提としない、国の政策に基づく資源量調査の段階である。事業者は中部電力と鹿島建設で、JOGMECの助成事業として進められている。メリットは安定した電力確保への貢献、デメリットは自然環境への影響等が考えられる。自然環境や温泉への影響は専門家による調査とモニタリングで確認し、町は中立の立場で問題があれば中断を求める。情報は今後、ホームページ等で公開する。

事業概要、進捗、メリット・デメリット、環境への影響、町民への情報提供について問う。



民間事業者主体で国立公園内の資源量調査を実施

**（答弁） 喜井町長**  
許可権限は国にあり、町は意見を表明できる立場である。協議会は段階的に意見を集約し、必要に応じて町民参加も検討する。調査は国や関係機関も関与し、客観性を担保する。説明会は計画が具体化した適切な時期に、事業者が主体となり、町も関与して行う。町はリスク最小化と町民理解を最優先に対応する。

調査結果の客観性や公平性はどのように確保するのか。事業者主催の町民説明会は適切ではないのではないか。

## 議会カレンダー

内 容	日 時	場 所
まちなか会議 カフェでひとこと	2月 24日 (火) 11:00	平成館
議員塾 開塾式	2月 27日 (金) 10:00	委員会室
議員塾 座学	3月 2日 (月) 未定	委員会室
3月定例議会 本会議	3月 10日 (火) 10:00	議 場
3月定例議会 本会議(残り)	3月 11日 (水) 10:00	議 場
3月定例議会 一般質問	3月 16日 (月) 10:00	議 場
3月定例議会 一般質問(残り)	3月 17日 (火) 10:00	議 場
令和8年度予算審査特別委員会	3月 18日 (水) 9:30	議 場
令和8年度予算審査特別委員会	3月 19日 (木) 9:30	議 場
3月定例議会 本会議(最終日)	3月 23日 (月) 10:00	議 場
議員塾 閉塾式	3月 23日 (月) 未定	委員会室
まちなか会議 議会報告会	4月 22日 (水) 11:00	ほほえみプラザ

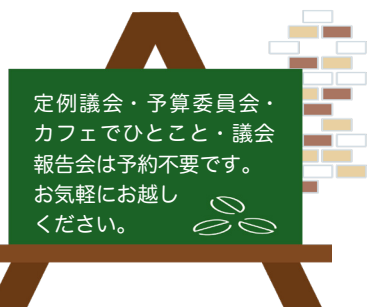
議員塾の詳細は次ページをご覧ください。

### 議会中継やってます。

定例議会及び予算審査特別委員会の動画をYouTubeで配信します。QRコードを読み取るか、鹿追町議会ホームページの「議会中継」ページからご覧ください。



<https://www.town.shikaoi.lg.jp/gikai/chukei/>



定例議会・予算委員会・カフェでひとこと・議会報告会は予約不要です。お気軽にお越しください。







## 12月定例議会 一般質問

### 01 農業塾生と産業研修生が傍聴

12月16日の鹿追町議会定例議会一般質問を、01農業塾生と産業研修生、計5人が傍聴しました。  
全員が初めての議会傍聴で、町民目線で議会を見守るきっかけとなりました。



左から 01 農業塾生の大原さん、同 國島さん、産業研修生の飯田さん、上嶋議長、産業研修生の川崎さん、同 岡田さん、清水副議長

■國島 陸斗さん  
(幌内・畑作)

10数年鹿追に住んでいますが、知らないことが多かったと感じました。子どもが生まれる予定なので、子育てに関する補助等の議論に関心深く聞けました。

■大原 侑真さん  
(笹川・酪農)

英語教育やジオパーク認定がどう決められてきたのかを見られて面白かったです。少子化対策や教育問題は深く関わる部分なので、情報を待つのではなく自分から取りに行くことが大切と感じました。

■飯田 千夏さん  
(産業研修生・大阪府出身)

町が行っている工事計画等知らないことばかりですごく勉強になりました。



01 農業塾生と産業研修生が3議員の一般質問を傍聴

■川崎 日々希さん  
(産業研修生・福井県出身)

初めての議会傍聴で興味深かったです。町の施設をよく利用するので、身近なことが話されていて分かりやすく面白かったです。

■岡田 久里さん  
(産業研修生・埼玉県出身)

人生初の議会傍聴でした。興味・関心を持つことがとても大事だと気づけました。選挙に行こうと思います。

(取材・インタビューー 金子孝伸)

## 安藤幹夫議員

### 北海道社会貢献賞 (自治功労者) 受賞

11月20日、令和7年度北海道社会貢献賞(自治功労者)の表彰式が札幌市内で行われ、鈴木直道知事から安藤幹夫議員に表彰状の贈呈が行われました。

この賞は、市町村長や市町村議会議員等として長年にわたり住民福祉の向上と郷土の発展、地方自治の振興に貢献した功労者に授与されるものです。

安藤議員は、平成15年に町議会議員に初当選し、6期目です。これまで総務文教常任委員長・副議長・議長を歴任し、現在は議会運営委員長を務めています。



北海道社会貢献賞を受賞した安藤議員(右)と喜井町長

## 編集後記

今号も鹿追町議会の議会だよりをご覧いただき、ありがとうございます。  
議会の活動や地域の課題について、皆さんにお伝えできることを嬉しく思っています。私たちの町が抱える様々な問題について議論を重ね、より良い未来を築いていくために、皆さんの声を大切にしていきたいと思います。  
次号も引き続き、町の動向や議会の取り組みをお届けしますので、どうぞお楽しみに。皆さんからのご意見や感想もお待ちしております。  
鹿追町の発展のために、共に歩んでいきましょう。

議会広報部会 部会長 佐々木 康人

### 議会広報聴常任委員会 広報部会

部会長 佐々木康人  
副部会長 山口 優子  
部会員 青砥 敏一  
金子 孝伸  
黒井 敦志